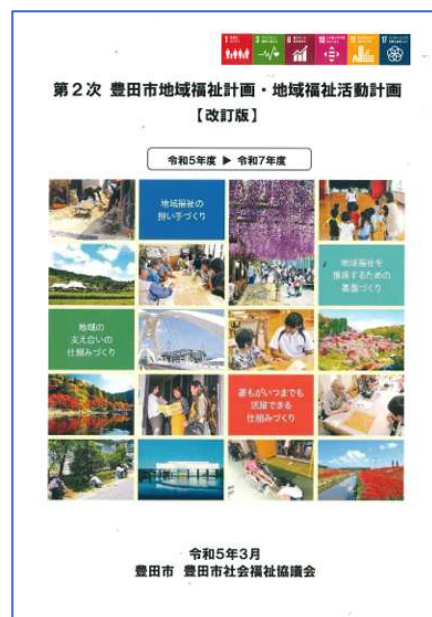


地域における福祉の担い手確保の取組に関する考え方

1 第2次豊田市地域福祉計画・地域福祉活動計画 改訂の内容

計画改訂時(令和4年度)に(仮)地域福祉人材センターの検討を計画に位置付け、地域における福祉の担い手確保育成の仕組みについて検討を進めてきた。



改訂（追加）

地域福祉人材を活躍の場に着実につなぐ仕組みの検討

重点取組

地域福祉人材の登録・マッチングなど活動支援の仕組みづくり

ボランティア実践者など地域福祉に関わる人材の「住民福祉教育の推進」と介護職員など「専門人材の確保・育成」について、人材を着実に活躍の場につなぐことが求められます。

そのため、より一体的に、段階を踏みながら人材の確保・育成を進め、登録・マッチングなど活動支援の仕組みづくりを進めます。

主な事業

(仮)地域福祉人材センターの検討

社会福祉協議会において、ボランティア実践者など地域福祉に関わる人材、介護など専門人材の確保・育成を一体的に行うとともに、育成した人材が地域で活躍できるよう、地域課題の情報を集約・提供し、登録・マッチングなど活動支援できる仕組みを検討していきます。

2 (仮)地域福祉人材センターの検討について

(1) 本市における福祉の担い手を取り巻く状況

① 地域人材

※地域人材
ボランティア実践者など地域福祉に関わる人材

- 市民アンケート(R6): ボランティア等に参加したい市民 ➡ **50.7%** (H30: 59.3%)
参加の条件として、**「情報入手」「体験機会」「時間が合う」**
- 区長・民生委員アンケート(R6)
: 「活動に関わる人が少ない」「リーダーがいない」
「担い手となる人材育成が必要」との意見が多数

② 専門人材

※専門人材
介護・障がいなどの福祉専門職の人材

- 厚労省推計: 2040年までに57万人の介護職員の確保が必要
➡ 豊田市: **2040年までに約1,800人(100人/年)の確保**が求められる。
- 本市は製造業が強く、他産業の賃金が高い ➡ **福祉業界の人材確保が困難**
参考: 介護職有効求人倍率5.15倍 Cf. 職業計平均有効求人倍率1.03倍

2 (仮)地域福祉人材センターの検討について

(2) 検討経過

地域人材・専門人材それぞれにおいて、担い手確保に必要な取組を整理するため、介護・障がい事業所向けアンケート(R6)や地域人材・専門人材の育成に関するテーマ別ワークショップを実施し、整理・検討

(令和6年度第2回合同会議報告)

○ 事業所向けアンケートやワークショップで得られた意見(抜粋)

① 地域福祉の担い手づくり(地域人材)

- ・ 担い手不足は喫緊の課題であるため、新たな担い手づくりや福祉に関わる人を増やす取組が必要
- ・ 参加のハードルを下げるデジタルツールの活用や体験機会の提供などがあると良い

② 地域福祉の担い手づくり(専門人材)

- ・ 自助努力(事業所)での人材の確保・育成はもちろんであるが、事業規模によって研修等の単独実施が難しい事業所が合同で研修を実施できる仕組みがあると良い
- ・ 復職や副業・兼業など、活躍の幅を広げるような新たなアプローチが必要

③ 地域人材・専門人材、両方に共通

- ・ それぞれの機関(市民・地域・事業所・社協・行政)がこれまで実施してきた得意分野の取組を着実に進めながら、連携・連動し、足りない部分を補ったり、新たな取組を生み出す仕組みが必要
- ・ ボランティア活動をしている人や、福祉に関心のある層が、福祉専門職につながっていくような仕組みが必要

3 (仮)地域福祉人材センターの検討結果

考察

- 様々な主体(市民・地域・事業所・社協・行政)がこれまで主体的に「地域福祉の担い手確保」につながる取組を実施している。
- それぞれの取組の拡充を図りつつ、それぞれの得意分野の取組を活かしながら、足りない取組等を補い合ったり、新たな取組を共同で創出できるような仕組みが求められている。
- 地域人材・専門人材確保を一体的に進めていくためには、それぞれの主体をつなぎ合わせる場や仕組みが必要となる。

3 (仮)地域福祉人材センターの検討結果

取組の方向性

① 地域人材(福祉分野に関わる人)を増やす取組の充実

○ 様々な主体が実施している取組

- ・ とよた市民福祉大学
- ・ とよた市民後見人養成講座
- ・ ボランティア講座
- ・ 福祉実践教室
- ・ 意思決定フォロワー導入講座
- ・ ボランティア講演会

○ 新たな取組(案)

- ・ ボランティア体験メニュー紹介
- ・ 中間支援組織連携コア会議の拡充(テーマ型と地縁型との連携・協働)
- ・ ボランティア登録のデジタル化

など

② 専門人材の確保・育成・活躍に向けた取組の充実

○ 様々な主体が実施している取組

- ・ 訪問介護体験
- ・ 実務者研修
- ・ 現任者研修
- ・ 働き続けられる職場づくり支援(職場改善コーディネーター派遣)
- ・ 介護の仕事相談会
- ・ 介護ロボット等導入補助金
- ・ コミュニケーション能力向上研修

○ 新たな取組(案)

- ・ 短時間・単発ワークの活用促進(業務分解支援等を含む)
- ・ 事業所の人材対策力向上支援の拡充

など

3 (仮)地域福祉人材センターの検討結果

③ 地域人材から専門人材へのステップアップ(ボランティアから専門職への橋渡し)を促す取組

- 新たな取組(案)
 - ・ 結びつける場と仕組み(プラットフォーム)
 - ・ タイムリーな情報共有の仕組み(情報掲示板) など



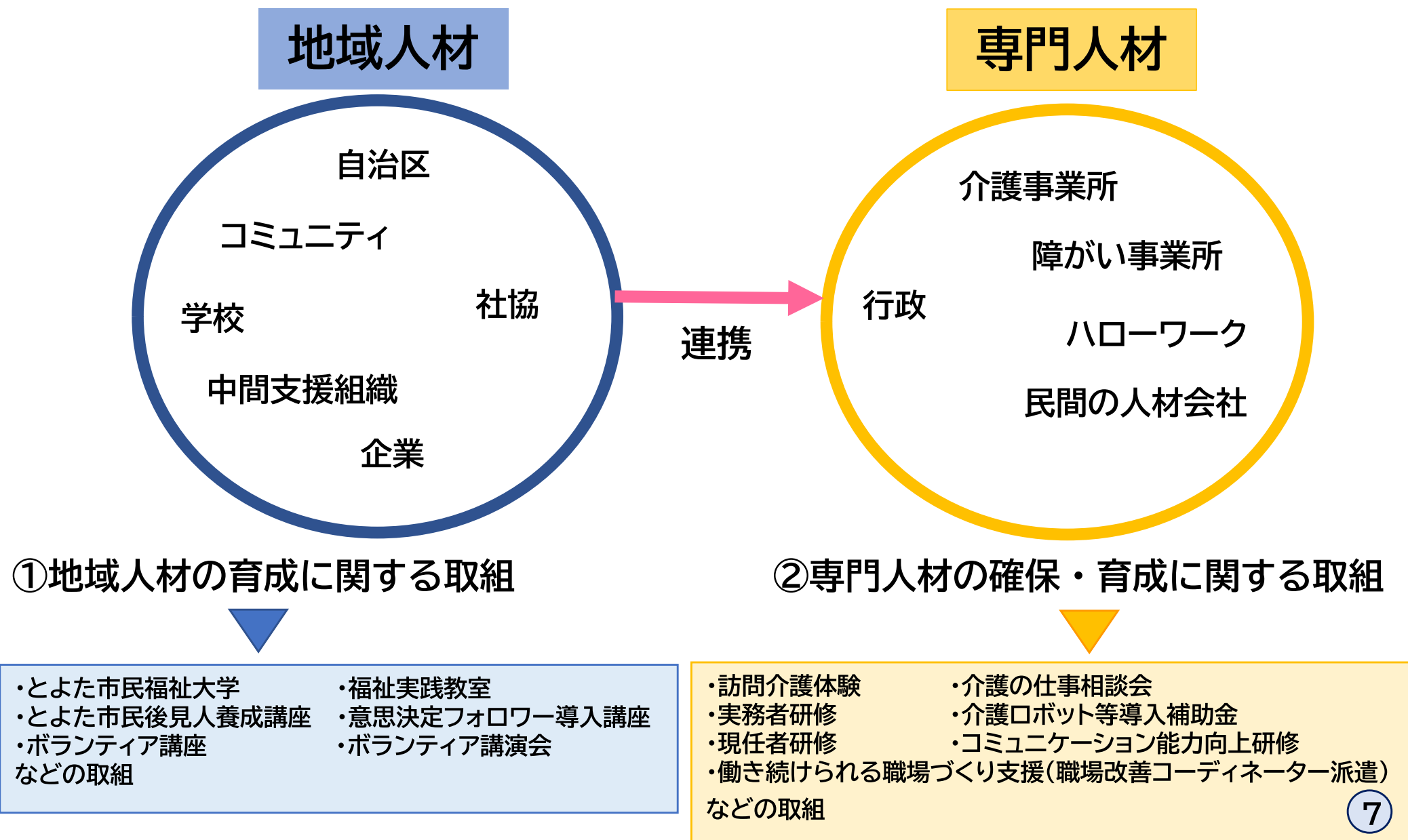
結論

「地域福祉人材センター」=地域人材・専門人材の確保・育成を一手に担う機関の設置ではなく、地域人材と専門人材の取組をつなぐプラットフォームを形成し、地域における福祉の担い手づくりの充実を図るものとして整理

4 地域における福祉の担い手確保に向けた考え方

【Before[～R7]】

「地域人材の育成」と「専門人材の確保・育成」は、部分的な連携はありつつも、各主体がそれぞれに取組を進めていた。



4 地域における福祉の担い手確保に向けた考え方

【After[R8～]】

地域人材・専門人材それぞれの領域はもちろん、領域間の連携・連動する場・仕組みを構築し、一丸となって人材確保・育成に取り組む。

①地域人材の育成に関する取組

既存の取組に加え、拡充

【啓発・発掘】

・気軽なアクセス

【育成・養成】

メニューの体系整理

【情報】

・情報の共有化

【マッチング】

・プッシュ型の発信

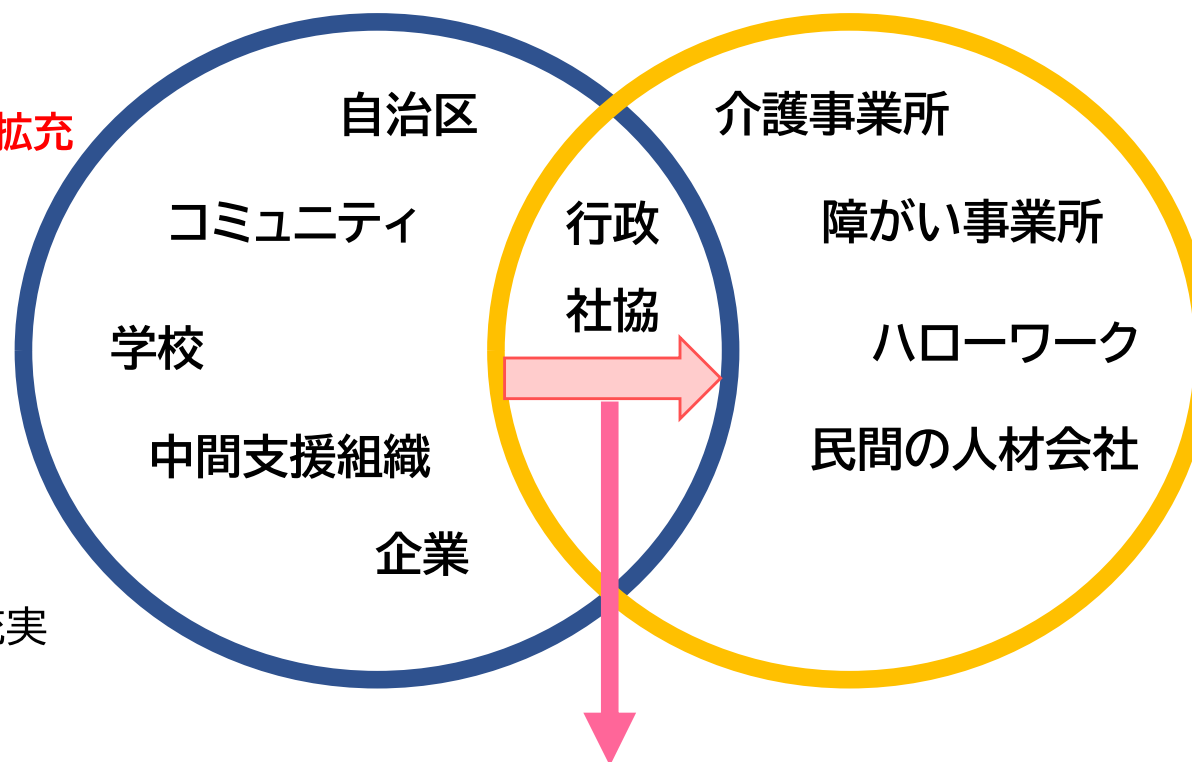
【定着・フォロー】

・フォローアップの充実

【ネットワーク】

・コア会議の充実

地域人材



②専門人材の確保・育成に関する取組

既存の取組に加え、拡充

【啓発・発掘】

・体験機会の創出

・気軽なアクセス

【育成・養成】

・研修機会の拡充

・資格取得支援

【情報】

・情報の共有化

【マッチング】

・仕事の切り出し支援

・潜在人材への復職支援

【定着・フォロー】

・働きやすい職場づくり支援

・多職種交流の場

【ネットワーク】

・合同研修

③地域人材から専門人材へのステップアップ（橋渡し）に関する取組

・結びつける場と仕組み（プラットフォーム）



結びつける場と仕組み(プラットフォーム)

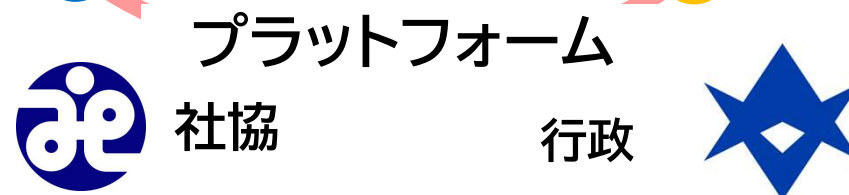
- 多様な機関の参画するネットワークを構築することで連携・連動させ、担い手の確保・育成・支援につながる取組を実施する。

地域人材

- ・とよた市民福祉大学
運営委員会
- ・ボランティアセンター
運営委員会
- ・中間支援連携のための
コア会議
- ・学校・企業
- ・自治区
コミュニティ

専門人材

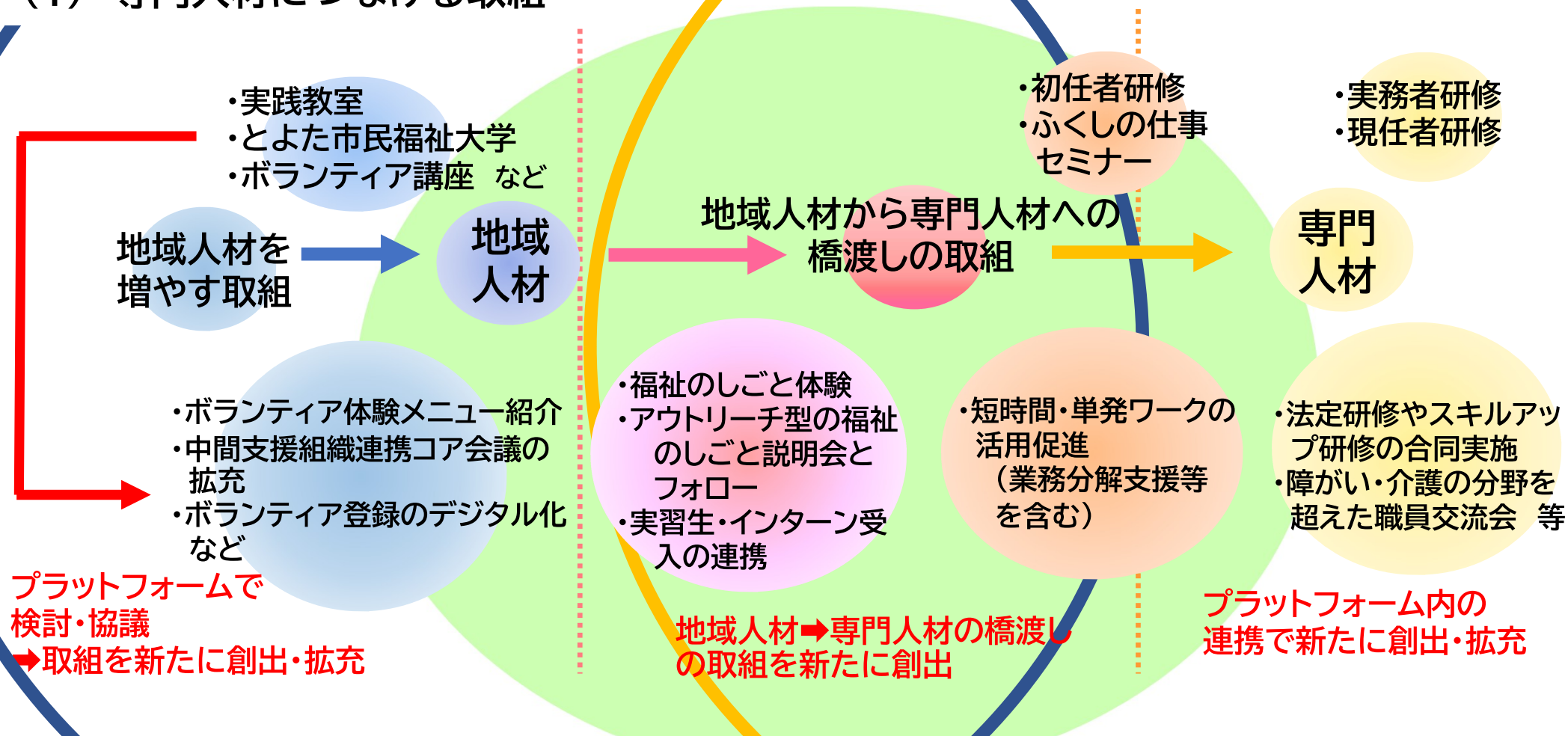
- ・介護サービス機関
連絡協議会
- ・特別養護老人ホーム
施設長協議会
- ・地域自立支援協議会
- ・ハローワーク
- ・民間の人材会社



5 地域人材から専門人材へのステップアップ（橋渡し）の取組

プラットフォームで今後検討する取組(例)

(1) 専門人材につなげる取組



プラットフォームに参画する多様な主体の連携・連動により
「地域人材を増やす取組」→「地域人材から専門人材への橋渡しの取組」→「専門人材としての活躍・定着を支援する取組」
を新規創出・拡充し、つなげていくことで、専門人材の増加を目指していく

5 地域人材から専門人材へのステップアップ（橋渡し）の取組

プラットフォームで今後検討する取組(例)

(2) タイムリーな情報共有の仕組み(情報掲示板)

- 各機関で実施している研修等の取組や求人情報、ボランティア募集などを、ポータルサイト等集約して掲載し、欲しい人に欲しい情報がタイムリーに得られるようにし、活動・仕事に繋がりをやすくする。

